

バーバのしるし

2020 年 10 月 1 日

読者の皆さん

毎年 10 月全体を通して、グルマールは、バーバがこの世を去り、神聖な大いなる自己と完全に一つになった時であるマハーサマーディを祝うこの時期に、バーバのしるしに気がつくようにと奨励しています。バーバのしるしとはどのようなものでしょうか。何かしらの意図を持ち、焦点を合わせると、私たちはこの世界がバーバのしるしであふれていることを体験できます！バーバの恩恵はあまりにも豊かな方法で現れるので、ひとたびこの機会を大切にしよう注意を向けると、一日を通してバーバのしるしを見ることができます。そのようにして、永遠なるものと一つになった者、さらにその存在と愛を私たちの人生で明らかにしてくれる者に、私たちは気づくようになります。ここに、この神聖なパラドックスの理解と体験を深める方法として私が書いた詩があります。

さあ、少し歩みを緩め、そして
光のために空間を作ろう、
心のために、
すべての振動する静けさのために。

私たちが崇拝する人は内側にいる。
私たちが崇拝する人は外側にいる。
私たちはどこへ向かうべきなのだろう？

バーバのしるしに気がつくようにというグルマリーの招待は、私たちに喜ばしい課題を提供しています。それは日常の世界を新しい視点で見ることに、そして私たちが遭遇するすべての中に輝く大いなる自己を認識することです。シッダ・ヨーガの道でバーバの月と考えられているこの10月の間、小さなノートを持ち歩くのも良いかもしれません。そうすることで、あなたが体験するバーバのしるしをすべて書き留めておくことができます。私自身もそうすることを、そしてこの時期を通して出会う美と光の瞬間を写真に収めることを楽しみにしています。

バーバは、1982年10月2日の満月の日にマハーサマーディに入りました。ですから、毎年この記念日は太陽暦(西暦)で10月2日に祝われ、また、太陰暦(インド暦)で満月の日に祝われます。2020年のバーバの太陰暦のマハーサマーディは、10月31日に祝われます。この日は満月というだけでなく、ブルームーン、つまり西暦で今年2回目の満月になります。西洋では、「once in a blue moon(青い月に一度)」という表現は、まれで貴重なことを表し、バーバのような偉大な魂の人生と恩恵を確実に言い表す言葉です。

私にとっては、完全な神の実現の体験の中にあり、その同じ高貴な境地を他の人々にもたらずという目的だけを持ったバーバの生——そしてグルマリーの生——にまつわる精神的価値は、想像することさえ難しいものです。しかし、インドの伝統によれば、この精神的価値の一部は、偉大な魂たちのそれぞれのマハーサマーディの記念日にその魂をたたえる人々に与えられます。ですから、この聖なる日にバーバを思い出すよう私たちは奨励されているのです。

このバーバ・ムクターナンダのマハーサマーディの月に、私たち一人一人がどのようにバーバを思い出すかを選ぶことができます。あなたは今年どのようにしてバーバを思い起こしたいですか。バーバのマハーサマーディの体験を語るシッダ・ヨーギたちの話を読むことによってでしょうか。グル・プージャーの修行に取り組むことによってでしょうか。シッダ・ヨーガの道のウェブサイトのために、満ちていく月の写真を撮ることによってでしょうか。「オーム・ナモー・バガヴァ

「テー・ムクターナンドーヤ」をたくさんのラーガのうちの一つで歌い、バーバの名前をチャンティングすることによってでしょうか。

ウェブサイトでバーバのマハーサマーディについて読んだ後、私はグルデーヴ・シッダ・ピートゥのサマーディ・シュラインへ心の中で巡礼をするというひらめきを得ました。存命中には会うことのなかったバーバを体験したいという心からの熱望を持ち、バーバの存在の中で過ごしたいと思いました。瞑想のために座り、心の目で、グルデーヴ・シッダ・ピートゥのハスの模様の正門をくぐり、まず中庭に行き、グルマーイの椅子にお辞儀をしました。数分間そこにいて、グルの存在の静けさに陶醉しました。それから、ドアを入れてバーバの眠る簡素な大理石の墓所の前にある台の上にバーバのサンダルを見ることを予想しながら、サマーディ・シュラインへ行きました。しかし代わりに私が見たのは、そこに立っているバーバでした。まるで私のことを待っていたかのようにでした。バーバは喜びと愛にあふれる様子で私にほほ笑み掛け、それから私を抱き締めました。私の心の中で何かが溶け、平和と愛の深い感覚が湧き上がるのを感じました。それは驚くべきことでもあり、極めて普通のことでもありました。バーバはいつも私と一緒にいて、私を守り、導いてくれているという感覚でした。そして、私の心が私を彼の方へ引き寄せる時にはいつでも、私はバーバと一緒にいられるのだという感覚でした。この、生徒の心の中に常にある存在が、シッダ・ヨーガのグルたちが授ける恩恵の贈り物なのです。

あなたは疑問に思ったことがありますか、恩恵とは何なのだろうか。

この世界中での驚くべき困難の時期、私は恩恵についてたくさん熟考してきました——恩恵とは何か、それは私たちの人生にどのような影響を与えるのか。最も超越的な意味において、恩恵の聖なる力は、私たちを自らの本質である神聖さに目覚めさせ、私たちの卑小だという感覚を、自分自身の存在の内にあり、私たちを取り巻く世界と人々の中にもある光と美の気づきへと変容させます。何と素晴らしいことでしょう！ シャクティパート・ディークシャー——私たちの

内にある神聖なクンダリーニー・エネルギーの目覚め——を通して、グルは、神の光は私たち自身の光であるという気づきを増大させる道に私たちを置くのです。

恩恵はまた、人生の中の小さなことの中に、全く個人的で予想のつかない形で表れます——自然にあるハートの形をした岩だとか、ちょうど良いタイミングで現れる親しみある顔、またクジャクの羽のような形をした雲などに。先にも述べたように、今月いっぱい、バーバのしるしに目を向け続けることを楽しめるでしょう。自然の中に、他の人々の中に、そして私たちの人生の中に行き渡る大小の美と奇跡の中に。これらは皆、神聖な恩恵の現れなのです。

言及しておきたい恩恵の素晴らしい現れの一つが、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトにある「ディヴァ・スークタ」——恩恵の色彩——と名付けられたページで、その中でグルマーイは、簡潔な教えのコレクションを、あるものは短く、あるものはたった一言で提示しています。それぞれが美しい自然の写真の上に芸術的に表示されています。恐らく、私がそうであるように、あなたも特に引き付けられた教えを選び、その日一日ウェブブラウザー上にそのページを開いたままにしておくと、その美と英知を再訪することができ、ひらめきを感じることでしょう。

10 月はまた、グルマーイのメッセージについての私たちの熟考を吸収し、偉大な女神を崇拝するための素晴らしい時でもあります。

グルマーイのメッセージについての熟考

シッダ・ヨーガの修行の最も重要な側面の一つが、グルの教えを学び、熟考し、日常生活に活かすことです。「グルマーイのメッセージについての熟考」では、シッダ・ヨーガの生徒たちが、「スウィート・サプライズ(嬉しい驚き)」からの教えの一つについての彼らの熟考と実践の体験を記しています。2020 年、これらの熟考は 9 月から掲載が始まりました。一つ一つが宝石です。それぞれが、私たちにとって自分自身のサーダナーや生活環境に適用するためのインスピレーションとなります。10 月にはもっと掲載されていきます。

ナヴァラトゥリーとダセーラ:10月17日～24日(インドでは17日～25日)と10月25日

ナヴァラトゥリー、つまり「九夜」は、高貴な女神でありあらゆるものの母であるデーヴィーをたたえる伝統的なインドの祝祭です。至高のシャクティとしての本質で、彼女は世界を守り向上させるために、多くの姿の女神として現れます。

インドでは、2020年のナヴァラトゥリーは10月17日から25日に祝われます。シッダ・ヨーガの道においては、通例、女神の三つの姿が、三夜ずつ連続してたたえられます。最初はマハードゥルガー、次にマハーラクシュミー、そして最後がマハーサラスワティーです。西洋では、今年のお祝いは10月17日から24日にあり、伝統的な九夜が八夜だけになっています。これが起こる年があるのは月の周期によるもので、吉兆な夜の二つが同じ夜になります。ですから、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでは、今年は、最初の二夜にマハードゥルガーをたたえます。この二夜で、適切なプージャーすべてが行われます。

インドと西洋の両方で、10月25日はダセーラであり、それはヴィジャヤーダシャミー、「十日目」そして「勝利の日」としても知られています。これは、インドで一年のうち3日半ある最も吉兆な日の一つとして祝われます。教典では、この栄光の日に——年代やユガは異なりますが——女神が悪魔マヒシャーを打ち負かし(『デーヴィー・マーハートゥミヤ』)、ラーマ神が10の頭を持つラーヴァナを打倒し(『ラーマーヤナ』)、そしてパーンダヴァの王子たちが13年間の追放から家に帰還したのです(『マハーバーラタ』)。ですから、ダセーラはさまざまな形で暗闇を打ち負かした光の勝利を表しています。

「スワーデヤーヤ」の学びのセッション

ご存じのように、「スワーデヤーヤ」の学びのセッションが、ライブ動画配信によりシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで、毎週土曜日に開催されています。サンスクリット語のスワーデヤーヤの文字通りの翻訳は「自学」であり、そして——この学びのセッションのマネジングディレクター

であるスワミ・アカンダーナンダが、紹介の解説、「スワーデヤーヤとは何か」で指摘しているように——それはまた「大いなる自己を学ぶ」ことです。スワーデヤーヤは、神聖な教典を朗唱するという長年敬われてきた修行のことを言います。これらの学びのセッションでは、「シュリー・グル・ギーター」を朗唱する具体的な指示を受け取り、それによって、スワーデヤーヤの意識的な修行が、神聖な大いなる自己の理解と体験へと、さらに効果的に私たちを運んでくれることでしょう。

第1回のセッションで、スワミ・アカンダーナンダは「スワーデヤーヤ」のより大きな意味について語り、その週の焦点となる具体的なテーマを紹介しました。それはシッダ・ヨーガの道のウェブサイトにある数多くの学びの機会の紹介です。「スワーデヤーヤ」の学びのセッション第2回では、スワミ・ジは、私たちが朗唱のために身に付けるべき床や椅子に座った適切なアーサナ、つまり「姿勢」についての詳しい指導をしました。それから、古代インドのヴェーダの賢人たちによって与えられた神聖なるものとの一体化を表す時を超えた宣言に沿って、精神修行のための私たち個人の確言を書くことへと導きました。私たちが“ber”の付く月、October, November, December (10 月、11 月、12 月)に深く入って行くにつれ——北半球では、“brrrr (寒いことの表現)”の付く月と考える人もいますが——シッダ・ヨーガの学びにとっては、啓示にあふれ、創造性に満ちた時期に入って行くのです。

私の中では、バーバの生涯の最大の遺産の一つは、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの入り口の上に書かれた彼の言葉に表現されている教え、「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」です。先ごろ私たち夫婦を訪ねて来た友人が、もう 20 年以上も前にアーシュラムに到着した時の体験を話してくれました。彼女は、アーシュラムの入り口のアーチの上のバーバの言葉を見た時、あふれんばかりの喜びが彼女の中に勢いよく流れ、神は自分として自分の内側に**確かに**住んでいる、という絶対的確信を運んでくれたと言いました。彼女は神経科学者

——脳の研究をしている人——であり、彼女自身の頭の中で起こっていることについて非常に鋭い観察をする人です。彼女はバーバの教えが、長らく抱えてきた自分は罪人であるという感覚をあっという間に洗い流し、代わりに平和と一体性の素晴らしい感覚に置き換えてくれたことにとても驚いたのです。

バーバとグルマリーの恩恵と教えがこのように人生に触れた人々の数を数え上げることは不可能ですが、豊かで霊妙な庭園が何らかの形でこの地球上に広がり、おびただしい数の人々の心と人生の中に根付くことを想像したいと思います。私は、これがシッダ・ヨーガの道の中心的な遺産だと思います。今月、バーバのマハーサマーディを祝う時、私たちそれぞれが、自身の個人的な変容について、そして未来の世代の利益のためにどのようにシッダ・ヨーガの遺産に貢献する責任を持つかについて、熟考することができます。

心を込めて

ポール・ホークウッド



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。